

## ○水道施設管理関係

### 伊達市水道事業（令和元年度）

配水施設のリアルタイムな稼働状況（流入流量・流入残塩・配水池水位・配水流量・配水残塩・加圧ポンプ作動の有無・送水流量・次亜注入機作動の有無）をタブレットを使用して確認できるようにしている。これにより、遠隔地から配水の状況を確認することが可能となっている。



### 袋井市水道事業（令和元年度）

消毒用次亜塩素酸ナトリウムの貯蔵タンクの冷却を目的として、地下水を循環活用することにより経費の節減等に寄与している。



# 柳井地域広域水道企業団水道用水供給事業（令和元年度）

薬品貯留棟に薬品に関する注意書き（人体に及ぼす作用、応急措置など）等が掲示。

SDS	
名称	次亜塩素酸ソーダ
人体への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>人体への影響：吸入したときに強い刺激性があり、呼吸器を完全に洗い流さない限り咳が深くなり、場合によっては気管支炎を引き起こす可能性がある。</li> <li>皮膚に付いたときに強い刺激性があり、煮沸消毒でも皮膚炎や潰瘍の症状を呈する。</li> <li>濃度が濃い場合には、重度の皮膚障害を引き起こす。</li> <li>ホストを吸入すると乳白色結核を発生し、これにより肺、咽喉部の炎症が、喉炎、声しびれ、汗疹を引き起こす。</li> </ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸入した場合：新鮮な空気を確保し、人工呼吸、酸素吸入などを行い、速やかに医師の診察を受ける。</li> <li>皮膚に付着した場合：直ちに大量の水で十分に洗い流す。患部を冷やして、症状の改善を図る。</li> <li>目に入った場合：少なくとも15分以上洗い流す。速やかに医師の診察を受ける。</li> <li>飲み込んだ場合：嘔吐は誘わずに行わない。</li> <li>水でよく口の中を洗浄し、水で飲み込んで嘔吐しない。速やかに医師の診察を受ける。</li> </ul>
保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸器用の保護具：パロゲン対応マスク着用</li> <li>手の保護具：ゴム製手袋着用</li> <li>目の保護具：保護眼鏡、面罩の使用</li> <li>皮膚及び身体全体の保護具：不浸透性作業服、ゴム長靴、ゴム製耐化学靴</li> </ul>
取扱上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎熱・発火：引火性の薬剤に注意する。</li> <li>塩素発生：塩素発生を抑制する。</li> <li>取扱い：可燃物、アクリル、エポキシ、有機、アミン系、有機金属との接触禁止。</li> <li>一部は強酸性、pHが低下すると有害な塩素ガス（Cl<sub>2</sub>）を発生するので注意が必要である。</li> </ul>

SDS	
名称	苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）
人体への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>目に入ったときに強い刺激性があり、付着物を完全に洗い流さない限り目力低下や失明を引き起こす可能性がある。</li> <li>皮膚に付いたときに強い刺激性があり、煮沸消毒でも皮膚炎や潰瘍の症状を呈する。</li> <li>濃度が濃い場合には、重度の皮膚障害を引き起こす。</li> <li>ホストを吸入すると気道の刺激症状があり、声嘶、喉腫、咳、息切れ、肺水腫等を発生する。</li> </ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸入した場合：新鮮な空気を確保し、呼吸しやすく姿勢で休息させる。呼吸が止まっている場合は人工呼吸を行い、速やかに医師の診察を受ける。</li> <li>皮膚に付着した場合：直ちに付着物を多量の水で十分に洗い流す。呼吸が止まっている場合は人工呼吸を行い、速やかに医師の診察を受ける。</li> <li>目に入った場合：直ちに大量の水で15分以上洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。</li> <li>飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄し、速やかに医師の診察を受ける。</li> </ul>
保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸器用の保護具：防護マスク、空気呼吸器着用</li> <li>手の保護具：ゴム製手袋着用</li> <li>目の保護具：保護眼鏡着用</li> <li>皮膚及び身体全体の保護具：ビニール製作業服、ゴム製保護長靴着用</li> </ul>
取扱上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管・管理：アルカリ性のため、酸性の薬品とは同一場所に保管しない。</li> <li>取扱い：濃度をよく、ホストが腐蝕しないようにする。</li> <li>取扱い：ホストが腐蝕しないようにする。</li> <li>アルカリ性のため、酸性の薬品との接触を避ける。</li> </ul>